

## 第6学年 国語科学習指導案

児童：6年2組 男17名 女12名

指導者：上平 互哉

- 1 単元名 二 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう  
教材名 「平和のとりでを築く」  
「自分の考えを発信しよう」

### 2 単元について

#### (1) 教材について

本単元「筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう」は、事実と筆者の意見や主張との関係をおさえ自分の考えをまとめながら読む力を育てること、さらに、自分の考えを明確に伝えるために、必要な材料を集め、選択し、文章の組み立てを考えて書く力を育てることをねらいとしている。

「平和のとりでを築く」は、13段落で構成されており、大きくは「原爆ドームに対する筆者の思い」第1段落、「原爆ドームがたどった歴史」第2～第8段落、「世界遺産への道のり」第9～第11段落、「まとめ」第12～13段落の4つのまとまりから成っている説明的文章である。日本人として知っておきたい史実と、それが「世界の遺産」となった意味についての筆者の主張を丁寧に読み取り、これからの社会の在り方が自分たち自身の問題であるという視点を与えることで、「平和」や「戦争」という重要な問題について子どもたちが自分なりの考えをもつことができる価値ある教材といえるであろう。また、多くの人々が「平和」を希求していることを理解することで、第2教材を学習する際の動機付けにもなっている文章でもある。

「自分の考えを発信しよう」では、「平和のとりでを築く」を読んで自分なりに考えたことを、「平和」にかかわるいろいろな資料を集めて読み、さらに考えを深めて自分の考えを明確に伝えるために文章を工夫し、発信していく活動を通して、表現能力を高めることができることを考える。

以上のことから、これらの教材は筆者の主張を読み取り、自分の考えをもち、さらに発信する力を育てるのにふさわしい教材といえる。

#### (2) 子どもの実態

6年生になって子どもたちは説明文教材「生き物はつながりの中に」と「多くの人が使えるように」では、事実と筆者の意見や主張を区別しながら読み、筆者の考えに対する自分の意見をもつ学習を、「みんなで生きる町」では、自分の考えを伝えるために必要な材料を集め、書きまとめて発信する学習を行ってきた。

これらの学習を通して、子どもたちは「問題提起」→「問題の解明」→「まとめ・主張」という文章の構成に着目し、最終段落で筆者の主張が明確に示されていることを理解するようになってきている。しかし、文章全体を要約して筆者の考えをまとめ、それに対する自分の考えを書く場面では、大切な言葉や書き出し等の手がかりを示さなければ書くことができない子どもや、根拠となる考えや自分の経験や知識を入れながら自分の考えを書きまとめることが難しい子どもがみられた。それは、自分の考えに自信がもてなかったり、経験や知識が乏しかったりするためと考えられる。

本校の研究内容である「教材文とのかかわり」では、子どもたちは文章構成を大まかにつかんだ上で重要語句や文末表現にサイドラインを引き、事実と筆者の考えを区別しながら読み、各段落の要点をまとめることができるようになってきている。サイドラインを手がかりに自力で段落の要点をまとめ、要旨をとらえたり、全体を要約したりできる子どももいるが、段落の要点をまとめるのに時間がかかる子どももいる。

また「友達とのかかわり」では、一人学びの後でペアや少人数でそれぞれの考えを確認する場を設けてきた。自分の考えを近くの友達に声に出して伝えたり、友達の考えに対する自分の感想を伝えたりする機会をどの子にも与えることで、お互いの考えを認め合い、相手の考えを受けて自分の考えをさらに深めようとする意識をもつ子どももみられる。また、全体の話し合いの場では、友達の発言に際して、自分の考えと比べながら聞き、自分の立場をはっきりさせて発言するように心がけさせてきた。

(3) 指導にあたって

① 教材文とのかかわり

学習計画の段階では、日本が過去に経験した戦争や、今も戦争で苦しんでいる同世代の子どもたちがいる事実が分かる資料を提示して、「平和」が今日的な課題であり、これからの社会を担う自分たち自身の問題でもあるということをとらえさせ、初発の感想の中で題名に込められた筆者の思いや筆者の主張を予想させる。そして、単元名「筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう」に着目させ、教材文「平和のとりでを築く」での筆者の主張を読み取った上で、それに対する自分の考えを意見文として書きまとめ、交流するという全体を通しての課題をつかませることで、学習への意欲を高め、持続させていく。

課題追究の段階では、原爆ドームがたどった歴史と世界遺産になるまでの道のりや筆者の考えについて、それぞれ丁寧に読み取る活動をし、その後考える視点をいくつか与えて自分が感じたことや考えたことを書きまとめていく。そうすることで、自分の意見の蓄積ができ、まとめの意見文を書く場合に生かすことができるようになる。また、書きまとめる際に具体的な視点を与えることで文章からずれない内容で書きまとめることができ、より価値の高い視点で書こうという意欲が喚起されると考える。

課題解決の段階では、題名に込められた筆者の思いや筆者の主張をまとめ、今まで書きためてきた自分の意見をもとに筆者の主張に対する意見文を書く活動を取り入れる。そして、初発の感想と比較することで、自己の読みの高まりを実感すると思われる。

また並行読書として「戦争」や「平和」、「原爆」、「世界遺産」等、教材に関わる本や資料を身近に置き、子どもたちの興味・関心や考えを高め、平和について考えることができるようにする。

② 友達とのかかわり

学習計画の段階では、初発の感想を書かせた後に、視点別に分類した感想一覧表を配り、全体で交流し合う場面を設ける。お互いの感じ方や考え方を知る中で、共通点や相違点に気づき、さらに学習の後で初めの考えがどう変容するかなど、お互いの考えの深まり、高まりを認識させることにつなげていく。

課題追究の段階では、一人学びの後にペア同士でお互いの考えを確認する活動を取り入れる。全体での学び合いの直前に自分の考えをはっきりさせ、自信をもって学習に参加させるようにしたい。

3 単元の目標

観 点	目 標
国語への 関心・意欲・態度	・筆者の主張を読み取り、自分なりの考えをもったり、「平和」について関心をもって話し合ったり、意見文に書きまとめたりしようとする。
書く能力	・自分の考えを明確に表現するために、効果的な文章の組立てを考えることができる。 (ウ)
読む能力	・事象と筆者の意見や主張との関係を押さえ自分の考えをまとめながら読むことができる。 (エ)
言語についての 知識・理解・技能	・段落と文章全体との関係をとらえ、自分の考えを主張するための文章の構成を理解することができる。 (オ(ア))

4 単元の学習指導計画と評価規準（16時間 読むこと8 書くこと8）

段階	時間	○学習目標 ・主な活動	評価規準（評価方法）		
			国語への関心・意欲・態度	書く能力と読む能力	言語についての知識・理解・技能
学習計画	1	○単元のねらいを知り、学習の見通しをもつことができる。 ・戦争や平和に関して知っていることなどを出し合い、教材文に興味をもつ。 ・題名から内容を予想する。 ・漢字と語句の練習をする。	・戦争や平和に関する既習の学習を想起したり、資料に興味・関心をもったりしている。 (発言・ノート)	〈読む〉 ・単元のねらいについて理解し、単元の見通しをとらえている。 (発言・ノート)	・漢字や語句の意味について理解している。 (ノート)

	2	<p>○全文を読み、おおまかな内容をつかみ、初発の感想を書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全文を読む。</li> <li>・初発の感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文に興味をもち、感想をもとうとしている。(発言・ノート)</li> </ul>	<p>〈読む〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張は何か、興味をもった段落はどこかなど、具体的な感想を書いている。(ノート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な語句に気付き、語句の意味を調べている。(ノート)</li> </ul>
	3	<p>○題名とリード文、第1段落から読みの課題を共通認識し文章構成をとらえることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1段落を読み、筆者が「わたし」として語っていることに着目し、原爆ドームに対する筆者の思いを読み取る。</li> <li>・リード文を参考にして読みの課題を設定する。</li> <li>・全文を第2～第8段落(原爆ドームがたどった歴史)第9段落～第11段落(世界遺産への道のり)第12～第13段落(まとめ)に分け、文章構成をとらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読みの課題を考えようとしている。(発言)</li> <li>・全文を読み、文章構成をとらえようとしている。(発言・ノート)</li> </ul>	<p>〈読む〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「原爆ドームが世界遺産へ登録されるまでにどのような年月をたどってきたのか」を読み取りながら、筆者の主張を考えるという課題をとらえている。(発言・ノート)</li> <li>・文章構成をとらえている。(発言・ノート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章構成を理解している。(発言・ノート)</li> </ul>
課題追究	1 (本時) 1/3	<p>○原爆ドームがなぜ永久保存されることになったのかを読み取り、それに対する自分の考えをまとめることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2～第8段落を読み、物産陳列館が原爆ドームとして保存されていく過程を事例や時を表す言葉に着目し読み取る。</li> <li>・原爆ドームが永久保存されるに至った人々の思いに対する自分の考えを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原爆ドームがたどった歴史に興味をもち、自分の考えをもとうとしている。(発言・ノート)</li> </ul>	<p>〈読む〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原爆ドームがなぜ永久保存されたのかを読み取り、自分の考えをまとめている。(発言・ノート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示語の示す内容を理解している。(発言・ノート)</li> </ul>
	2	<p>○原爆ドームがなぜ世界遺産に登録されることになったのかを読み取り、それに対する自分の考えをまとめることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第9段落～第11段落を読み、世界遺産の制度や登録への経緯を、事例や時を表す言葉に着目し読み取る。</li> <li>・筆者の心の動き(不安→確信)を読み取る。</li> <li>・原爆ドームが世界遺産に選ばれたことに対する自分の考えを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原爆ドームが世界遺産に登録されるまでの経緯に興味を持ち、自分の考えをもとうとしている。(発言・ノート)</li> </ul>	<p>〈読む〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原爆ドームがなぜ世界遺産に登録されたのかを読み取り、自分の考えをまとめている。(発言・ノート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章中の漢字や語句の意味を理解し、適切に使っている。(発言・ノート)</li> <li>・指示語の示す内容を理解している。(発言・ノート)</li> </ul>
	3	<p>○筆者の主張に対する自分の考えをもち、深めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第12段落～第13段落を読み、第13段落に筆者の主張が表れていることを読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張をとらえ、自分の考えをもとうとしている。(発言・ノート)</li> </ul>	<p>〈読む〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張を理解し、自分の考えをまとめている。(発言・ノート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章表現のちがいに気付いている。(ノート)</li> </ul>

		・根拠を明らかにして，平和についての自分の考えをまとめる。			
課題解決	1	○題名に込められた筆者の思いを読み取ることができる。 ・前時までの学習で読み取ったことを学習シートにまとめる。 ・「平和のとりで」の意味を，学習前と比較し，読みの深まりを確認しながら，筆者の思いをまとめる。	・これまでの学習を振り返りながら，題名に込められた筆者の思いを考えようとしている。 (発言・学習シート)	〈読む〉 ・これまでの学習を振り返りながら，題名に込められた筆者の思いを読み取っている。 (発言・学習シート)	・重要語句や筆者の叙述の変化を理解している。 (発言・学習シート)
	2	○筆者の主張に対する意見文を書くことができる。 ・自分の感じ方や考え方を根拠を明らかにして意見文を書く。	・筆者の主張に対する自分の考えをまとめようとしている。 (ノート)	〈読む〉 ・平和についての自分の考えをまとめ，意見文を書いている。 (ノート)	・効果的な文章の構成を考えて書いている。 (ノート)
書くことの学習	1	○「自分の考えを発信しよう」全文を読み，学習計画を立てることができる。 ・教材文を読み，学習内容や方法を知る。	・平和に関する自分のテーマを考え，学習の見通しをもととしている。 (発言・ノート)	〈書く〉 ・教材文を読み，自分の伝えたいテーマを決めている。 (ノート)	・漢字や語句の意味について理解している。 (発言・ノート)
	2	○インターネットを活用した学習について学ぶことができる。 ・「インターネットと学習」を読み，情報の集め方や発信の仕方，人との交流の仕方を学ぶ。	・インターネットを活用する際に大切なことを進んで考え，理解しようとしている。 (発言・ノート)	〈書く〉 ・必要な情報を収集するときの方法や，表現するときの諸注意を理解している。 (発言・ノート)	・目的や意図に応じ，様々な表現方法があることを理解している。 (発言)
	3	○伝えたい相手と伝える方法，調べ方を考えることができる。 ・伝える方法や調べ方を知る。	・自分の伝えたいことを，誰に，どのような方法で伝えたいかを考えようとしている。 (発言・態度)	〈書く〉 ・何を，誰に，どのように伝えるかを自分の意図に沿って適切に考えている。 (発言・ノート)	・目的や意図に応じ，様々な表現方法があることを理解している。 (発言)
	4	○自分の伝えたいテーマについて調べることができる。 ・必要な資料を集める。	・必要な資料をいろいろな方法で集めようとしている。 (資料・態度)	〈書く〉 ・図書資料やインターネットなどを利用して，必要な資料を集めている。 (資料・態度)	・必要な語句の意味を調べている。 (ノート)
	5	○意見文の構成を考えることができる。 ・取材した資料から必要なものを選び，意見文の構成を考える。	・自分の考えの根拠となる資料を選択し，説得力のある構成を考えようとしている。 (態度・自己評価)	〈書く〉 ・自分の考えの根拠となる資料を選択し，説得力のある構成を工夫している。 (構成表)	・伝えたいことを明確に表現するための段落構成の工夫について理解している。 (構成表)
	6	○意見文を書くことができる。 ・構成表をもとにしながら，意見文を書く。	・構成表をもとにして，自分の考えがはっきりした文章を書こうとしている。 (態度・自己評価)	〈書く〉 ・事実と意見，考えなどを区別して，自分の考えがはっきりした文章を書いている。 (意見文)	・書き手の意図がはっきり分かるような文末表現について理解している。 (意見文)

7	○意見文を推敲することができる。 ・意見文を推敲し、清書する。	・意見文の推敲を進んでしようとしている。 (態度・自己評価)	〈書く〉 ・自分の考えが効果的に伝わるような表現になっているかを見直している。 (意見文)	・書き手の意図がはっきり分かるような文末表現について理解している。 (意見文)
8	○意見交流会を行うことができる。 ・意見交流会を行い、感想を交流して自分の考えを深める。	・自分の考えを述べたり、友達の意見文への感想を発表したりしている。 (態度・自己評価)	〈書く〉 ・友達の意見文を聞き、感想やアドバイスを述べている。 (発言・自己評価)	・文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。 (ノート)

## 5 本時の学習（課題追究 1/3）

### (1) 学習の目標

原爆ドームがなぜ永久保存されることになったのかを読み取り、それに対する自分の考えをまとめることができる。

### (2) 評価規準

#### 【読む能力】

原爆ドームがなぜ永久保存されることになったのかを読み取り、自分の考えをまとめている。

### (3) 展開

段階	学習活動	教師のはたらきかけと評価
課題把握と見通し 5分	1 前時の学習を想起する。  2 本時の学習範囲と課題をつかむ。 原爆ドームがなぜ永久保存されることになったのかを読み取り、自分の考えをまとめよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①段落の原爆ドームに対する筆者の思いを確認することで、本時の学習への意欲を高めるようにする。</li> <li>本時は、原爆ドームがなぜ永久保存されることになったのかを、原爆ドームの歴史を年月（時）に着目して読み取っていくことを確認する。</li> </ul>
課題追究 23分	3 課題解決の見通しをもつ  4 学習範囲を音読する。 (②③④⑤⑥⑦⑧) 段落 5 原爆ドームがなぜ永久保存されることになったのかを読み取る。  (1) 原爆ドームの歴史をまとめるために、「年代」「時間」「(この)建物」のキーワードを赤線で囲み、それらが含まれている一文に線を引く。 (一人学び)  (2) 書き入れた内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>原爆ドームが永久保存されることになるまでの道のりを読み取っていくことを確認し、課題解決につなげるようにする。</li> <li>指名をして段落ごとに音読し学習場面を確認する。 【教材文とのかかわり】</li> <li>隣同士で一人学びの内容を確認する。 【友達とのかかわり】</li> </ul>

(3) 物産陳列館が原爆ドームとして保存されていく過程を読み取る。

・あらかじめ作成しておいた一覧表をもとに確認する。

年 月	一九一五	一九四五	戦後間も ない頃
原爆ドームの歴史	・物産陳列館として完成 ・ひととき目立つ建物 ・原子爆弾投下、建物全焼	・市民の多くが命を失う ・れんがと鉄骨の一部は残る。 ・保存か取りこわしか議論。 ・お少女の日記に決	定。少しさ、保存後

(4) 物産陳列館がなぜ原爆ドームとして保存されることになったのか、そのわけを読み取る。

・第6段落「むごたらしいありさま」と第7段落「少女の思い」から原爆ドーム保存に反対する人々の考えと保存に賛成する人々の考えを対比させ、当時の人々が葛藤したことをとらえさせる。

(5) 自分が当時の人々だったら原爆ドーム保存をどう思うか、考える。

・どう思うかとそのわけをノートに2～3行で書いてから、少人数のグループで交流させる。

【友達とのかかわり】

課題解決  
12分

6 原爆ドームが永久保存されることになったことについて、自分の考えをまとめる。

(1) ノートに自分の考えを書きまとめる。

・原爆ドームが保存されることになったことについて自分はどうか考えるのかを書きまとめさせる。

【具体の評価規準(方法)と指導の手立て】

原爆ドームが保存されることになったことについて自分はどうか考えるのかを、理由を挙げてまとめている。(ノート)  
(例) 私は原爆ドームが広島の人々が受けたむごさを思い出させるという理由も分かるが、反対に原爆の恐ろしさを忘れさせないために残すことが戦争の恐ろしさを後世に伝えることにつながるの、保存されてよかったと思う。

(2) 発表させる。

・自分の考えを書きまとめることができた子どもには、原爆ドームが当時の人々にとってどんな存在だったかを、史実を根拠にして、「さらに」を使って付け足しをすることをあらかじめ指示する。  
・自分の考えを書きまとめることができない子どもには、「原爆ドームが永久保存されることになってよかったと思う。(保存されない方がよかったと思う。)わけは～」のように書かせる。

まとめ 5分	7 本時の学習で分かったことを書かせることで学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えがさらに深まったことや友達の発表から新たに気付いた点を踏まえて、本時の学習の振り返りをノートに書かせる。 【友達とのかかわり】</li> </ul>
	8 次時の学習の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑨⑩⑪段落から、原爆ドームがなぜ世界遺産に登録されることになったのかを読み取り、自分の考えを書くことを確認する。</li> </ul>

(4) 板書計画

